

2025年度 XX研究者奨励金
研究計画調査

※記入欄に初期設定されているフォント、サイズ（MS明朝、11ポイント又は12ポイント）で記入してください。なお、様式1に関しては、文字数の関係で枠に収まらない場合にフォントサイズを下げて構いません。

1. 研究者の基本事項

法人番号	13150000000000000000				
学校名	東西大学				
所属学部等	○◇学部	年数	—	性別	男
フリガナ	ナンボク タロウ	生年月日 (和暦)	昭和62年1月2日	年齢	36歳
氏名	南北 太郎				

講師の場合のみ、当該法人において講師として採用されて何年目であるかを、記入してください（産休、育休の期間は除外してください）。年数の計算においては、産休、育休の期間を除外してください。助教、ポスト・ドクターについては、年数の記入は不要です。

1987/1/2 又は S62.1.2
のように入力すると、
自動的に和暦で表示されます。

2. 研究課題等

研究課題 (副題)	○○○○の×××における◇◇◇◇分析 新たな可能性を秘める△△△△	研究課題、副題とも 30字以内としてください。 (副題はなしでも構いません)
研究区分等	人文・社会科学系 レ 理工系 生物学系、農学系 医歯薬学系	
	選択理由 ○○○○・・・ ・・・	希望する審査系に「レ」を入力してください。1つ又は2つ選択できます。
	※審査系については、別表1「若手・女性研究者奨励金 審査部門別系、応募研究別分科表」の4つの系から、1つ又は2つ選択できます。 ※研究課題が当該審査系での応募がふさわしいと考える理由を記してください。 なお、本項目も審査要素の一つとなります。	
研究分科	複合化学	※研究分科はプルダウンから選択してください。 なお、複数の分科にまたがる場合は、当該研究に占める割合が最も多い分科を1つプルダウンから選択してください。
キーワード	① ○○○○ ② ◇◇◇◇ ③ △△△△	研究課題の内容を端的に表す語句を、 3つ以内で記入してください。

3. 2025年度奨励金の使用予定

使用内容	金額 (円)	
○○○解析装置の購入	180,000	消耗品費
実験用試薬 (○○○他)	120,000	
○○○発表のための学会参加料	50,000	
○○○の調査の		

金額は概算で、千円未満を切り捨てて記入してください。
また、合計が40万円となるようにしてください。
※本奨励金は、当該応募研究に直接要する経費として所属学校が支出するものだけに使用できます。

生命倫理・安全対策の観点から法令等に基づく手続きが必要な研究を扱う場合は、学内の委員会等の手続きについて記入してください。
審査にあたっては、所属学校名や研究者名等の欄を伏せて行います。本欄において、所属学校名が明らかにならないようご注意ください。
なお、手続きを必要としない研究の場合は、「不要」又は「該当なし」と記入してください。

4. 研究倫理

令和6年8月10日	学内倫理審査委員会において承認	承認番号12345番
-----------	-----------------	------------

研究目的 ～動機、問題意識、明らかにしたい事項等について

本研究は.....
.....
.....

MS 明朝、11 ポイントで記入し、1 ページに収めてください。
(ページは増やせません)

動機や問題意識、明らかにしたい事項等が分かるように
ポイントをしぼり、具体的に記入してください。

強調したい部分にアンダーラインを付すことや、図や表の挿入も可能です。
※プレビュー画面上と実際に印刷した時の見え方が異なる(図や表が文字に重なる)場合があります。図や表を挿入する際は、文字との重なり等がないかを確認してください。

審査にあたっては、所属の学校名や研究者名等の欄を伏せて行います。
本文において、所属学校名や研究者名等が明らかにならないようにご注意ください。

記入例

MS 明朝、11 ポイントで記入し、概要を含めて全体で **2 ページ以内** に収めてください。

[様式 2-2 : XX]

研究計画・方法 ～当該研究の目的を達成するための研究計画・方法、期待される成果等

研究計画・方法（概要）

※研究目的を達成するための研究計画・方法について**簡潔に**記述してください。

本研究は.....

当該研究目的を達成するための、2025 年度の研究計画・方法について、その概要を簡潔に記入してください。

枠幅は自由に変更してください。

研究計画・方法（以下、具体的に）

○○○.....

当該研究目的を達成するための、2025 年度の研究計画・方法について、1 年間で何をどこまで明らかにするのか、期待される研究成果等を含めて、具体的に記入してください。

審査にあたっては、所属の学校名や研究者名等の欄を伏せて行います。
本文において、**所属学校名や研究者名等が明らかならないように**ご注意ください。

強調したい部分にアンダーラインを付すことや、図や表の挿入も可能です。
※プレビュー画面と実際に印刷した時の見え方が異なる（図や表が文字に重なる）場合があります。図や表を挿入する際は、文字との重なり等がないかを確認してください。

研究の特色、独創性 ～当該研究の特色、独創性、発展性、その他当該研究に関するアピール

本研究は.....
.....
.....

MS 明朝、11 ポイントで記入し、1 ページに収めてください。
(ページは増やせません)

強調したい部分にアンダーラインを付すことや、図や表の挿入も可能です。
※プレビュー画面上と実際に印刷した時の見え方が異なる(図や表が文字に重なる)場合があります。図や表を挿入する際は、文字との重なり等がないかを確認してください。

当該研究の特色や独創性、将来的な発展性等が読み手に伝わるよう、分かりやすく工夫して記入してください。

その他、当該研究に関するアピールを記入してください。

審査にあたっては、所属の学校名や研究者名等の欄を伏せて行います。本文において、所属学校名や研究者名等が明らかにならないようにご注意ください。

記入例

2025年度 XX研究者奨励金 事務担当者名簿

法人番号	131999	フリガナ	トウザイガクエン
		学校法人名	東西学園
フリガナ	トウザイダイガク		
学校名	東西大学	法人番号、学校法人名、学校名、研究者名は様式1（研究計画調書）で入力した内容が自動で反映されます。内容に誤りがないかご確認ください。	
書類送付先住所	〒102-9999 東京都千代田区富士見1-10-999		

研究者名	南北 太郎
------	-------

今回の応募について、私学事業団からの問い合わせに対応・説明のできる方を記入してください。

事務担当者（今回の応募について、私学事業団からの問い合わせに対応・説明のできる事務職員の方）

所属課・役職等	氏名(フリガナ)	連絡先	
研究支援課 課長	シガク タロウ	TEL	03-1234-5678
	私学 太郎	FAX	03-1234-0000
		E-Mail	taro-s@touzai-u.ac.jp
研究支援課 第一係長	トウザイ ニヘイ	TEL	03-1234-6789
	東西 二平	FAX	03-1234-0000
		E-Mail	nihei@touzai-u.ac.jp
研究支援課 第二係長	ショウレイ サブロウ	TEL	03-1234-9876
	奨励 三郎	FAX	03-1234-0000
		E-Mail	shourei@touzai-u.ac.jp
研究支援課 職員	ワカテ ハナコ	TEL	03-1234-3210
	若手 花子	FAX	03-1234-0000
		E-Mail	wakate@touzai-u.ac.jp
研究支援課 職員	ホクセイ モモコ	TEL	03-1234-1234
	北西 桃子	FAX	03-1234-0000
		E-Mail	hokusei@touzai-u.ac.jp

電話番号は、できるだけ代表番号ではなく、**直通の番号**を記入してください。

参考 若手・女性研究者奨励金 審査部門別系、応募研究別分科表

[別表1] 審査部門別系

人文・社会科学系
理工系
生物学系、農学系
医歯薬学系

注：[別表1] 審査部門別系は、若手・女性研究者奨励金の審査・選考にあたり使用するものです。
 なお、応募にあたっては「審査部門別系」は1つ又は2つ選択することができます。

[別表2] 応募研究別分科表

地域研究	教育学	総合工学	材料工学
ジェンダー	法学	生産環境農学	プロセス・化学工学
観光学	政治学	農芸化学	社会・安全システム科学
哲学	経済学	森林圏科学	健康・スポーツ科学
芸術学	経営学	水圏応用科学	生体分子科学
文化人類学	子ども学	社会経済農学	情報学基礎
史学	デザイン学	農業工学	計算基盤
人文地理学	科学社会学・科学技術史	動物生命科学	人間情報学
文学	文化財科学・博物館学	境界農学	情報学フロンティア
言語学	地理学	生活科学	環境解析学
心理学	科学教育・教育工学	神経科学	環境保全学
社会学	ナノ・マイクロ科学	実験動物学	環境創成学
数学	応用物理学	腫瘍学	社会医学
天文学	量子ビーム科学	ゲノム科学	内科系臨床医学
物理学	計算科学	生物資源保全学	外科系臨床医学
地球惑星科学	機械工学	基礎生物学	菌学
プラズマ科学	電気電子工学	生物科学	薬学
基礎化学	土木工学	人類学	看護学
複合化学	建築学	基礎医学	脳科学
	材料化学	境界医学	人間医工学